

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画 策定検討委員会

資料1 第1回委員会議事内容等の確認

資料2 まちづくり実施計画（吾妻公園）中間報告

議題（1） 第1回委員会議事内容等の確認

資料 1

■第1回委員会 令和5年7月21日開催

■デザイン会議※ 令和5年7月24日開催

※デザイン会議とは、「100年後も住み続けたいと思われる木更津」の基盤となる公共施設等のデザインについて検討することを目的とし、市職員などで構成するもの。
7月24日の主な議題は、吾妻公園の公園全体の導入機能、文化芸術施設の計画方針（配置、高さ等）について。

【第1回委員会およびデザイン会議における主な意見内容と対応方針案】

項目	主な意見内容	対応方針案
ビジョン・位置づけ等	・パークベイプロジェクトでは、吾妻公園での取り組みを「ウェルネス（健康・運動）」としていたが、まちづくり基本計画の整備方針では、「文化芸術活動等機能を中心とした世代間交流の拠点となる施設づくり」となっている。公園計画であるにも関わらず、建築物のみについて述べているように見えてしまっている。	・文化芸術施設を中心とした計画ではなく、公園内の多様な機能のひとつが文化芸術施設とした提案を行っていく。
	・芸術、防災、ウェルネスといった多くのキーワードがコンセプトに並べてあるが、コンセプトを分かりやすくするためにキーワードは絞ったほうが良いと思う。	・実施計画におけるコンセプトを再度整理する。資料2のp5で説明。
	・単独施設の集合ではなく複合施設であることによるメリットを説明したほうがよい。	・主に、資料2の第1章、2章で説明。
	・地域全体の計画の中での吾妻公園整備の位置づけの整理が必要である。	・資料2のp2で説明。
計画敷地	・公園敷地のみを検討するだけでなく、周辺道路や護岸なども入れて検討することが望ましい。計画範囲外も含めたストーリーを作ることができると、まちづくりや空間デザインとしては奥行きが出て来ると思う。	・公園敷地と東側県道の歩道が一体となったデザインなどが考えられるが、管理者との協議も必要であるため、本計画では提案にとどめておくものとする。詳細検討は今後の課題とする。
文化芸術施設／大屋根広場	・施設形状について、建築が外からどう見えるか、一方で建築からの周囲への眺望（海や富士山がどう見えるのか）について十分に配慮する必要がある。	・資料2のp9～11で説明。
	・3mの盛土高は圧迫感を感じるかもしれないので、県道東側の住宅地からどのように見えるかを検討する必要がある。	・できるだけ住宅地側に施設及び盛土を整備しないような計画とする。
	・文化芸術施設のホールやフライタワーの方針の再整理が必要と思われる。	・今後の概算事業費の精査などとあわせて具体的に検討していく。
	・盛土、嵩上げ方針の整理	・通常時利用と災害時の安全性が両立した空間イメージを今後具体的に検討していく。
	・大屋根広場と他の施設の関わり方、関係性を整理したほうが良い。	・日常利用を考え、アクセスしやすい1フレベルで連携できるよう具体的に検討を進める。
交通公園	・交通公園については、市として利用者にどう使ってほしいのかということも含めて、意見を求めながら改めて位置付けを整理する必要があると思う。	・交通公園を臨時駐車場や多目的広場としても利用できるよう方針で検討していく。資料2のp14、15で説明。
ドッグラン	・民活エリアなどとの連携などもあるのではないか。	・民活利用も想定し、今後のプレヒアリング等をふまえて具体的の方針を検討していく。
駐車場	・敷地の半分くらいが駐車場となり、全面アスファルト舗装の空間になることを懸念している。	・駐車場台数は、利用者が多い状況を条件での必要規模としているので、広場等の多目的な利用が可能となる駐車場の計画とする。資料2のp15で説明。
	・基本計画案では駐車場が吾妻保育園に向かい合った計画となっており、保育園前の景観が大規模駐車場になったり車が多く往来するようになることを懸念する。保育園の関係者等と協議を行っているか？	・協議は未了。保育園に対して極力影響が少なくなるように配慮した計画となるよう検討する。
車両動線	・駐車場出入口の箇所が中央部1か所で少ないか。	・メインの出入り口は中央部とし、イベント開催時など多くの交通量が想定される場合は、誘導員などを配置しながら北側や南側からの出入りを利用することも想定して検討する。
	・中央部出入り口の整備方針はどうなるのか。	・実施計画では、整備方針および課題の整理をとりまとめ、来年度以降に交通量調査の結果等をふまえて警察協議を含め具体的整備内容について検討をすすめる。
バス交通	・既存のバス停の取り扱いやイオン巡回バスのルートなどはどうなるのか。	・ロータリーや巡回バスルート案ができた時点でイオンタウン（株）に情報提供およびヒアリングすることも想定し、検討をすすめる。
（その他）		
サイン計画等	・沿道景観やサイン計画なども、市全体のサイン計画への展開も配慮してこの段階から意識しておけばよい計画になると思う。	・県道から見える景観に配慮した施設計画とする方針。サイン計画に関しては本計画検討には含まないが、市内全体のサイン計画や今後の検討の課題とする。
既存樹木	・防風林として植樹されているが、再整備の際にはその機能を維持するよう、植樹するなど検討が必要と思う。	・公園広場内は防風林やクロマツ群などの既存の樹木を可能な限りいかした提案をしていく。
管理運営	・計画地内の施設は市で管理するのか、外部委託するのか。	・教育委員会等含め庁内で方針を調整の後、具体的に設定していく。
広報	・施設を整備していくプロセスなども市民に公開していく方が、愛着が育てられるのではないかと 思う。このような広報活動は予定されいるか？	・計画策定経緯や建設時の経緯など、市のHP等で情報を公開していく予定である。

議題（2） まちづくり実施計画（吾妻公園）中間報告

1章

下線：第二回委員会での主な論点

- ・ 吾妻公園の位置づけ
- ・ 吾妻公園の周辺状況
- ・ 吾妻公園の現況

2章

- ・ ビジョン、コンセプト
- ・ 主な導入機能
- ・ 文化芸術施設の施設構成

3章

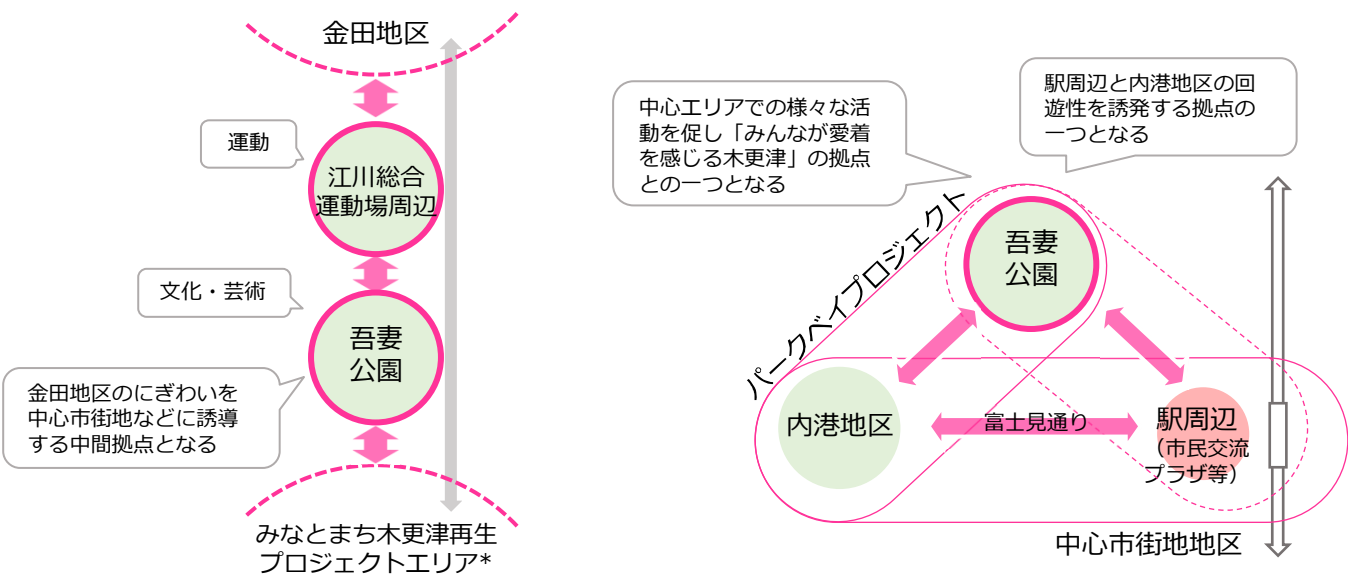
- ・ 公園全体の機能配置の考え方
- ・ 施設配置計画案
- ・ 交通公園のあり方について
- ・ 駐車場のあり方について
- ・ 動線計画案

1章

- ・ 吾妻公園の位置づけ
- ・ 吾妻公園の周辺状況
- ・ 吾妻公園の現況

吾妻公園の位置づけ

- 「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速し、金田地区のにぎわいを、木更津駅周辺地区、内港地区、築地地区に誘導する上での重要な中間拠点の一つ
- 金田地区および中心市街地区双方からアクセスしやすく、市内の広域的な回遊性を誘発しやすい立地
- 「木更津らしさ」を象徴する中心市街地、海、木更津飛行場のエリアに近接
- 恵まれた公園敷地規模



*みなとを活かしたまちづくりとして、駅周辺地区・内港地区・築地地区の3つの地区をみなとまち木更津の核となる2つのゾーン(都心居住ゾーン、広域交流ゾーン)に位置づけ、各地区の特性を活かした魅力的なまちなみを形成する新たな都市拠点の創出を目指すもの。

⇒ 吾妻公園は、地元に愛されながら様々な市民活動を促し、地域の活性化を誘発させるポテンシャルをもつ場

吾妻公園の周辺状況



2章

- ・ビジョン、コンセプト
- ・主な導入機能
- ・文化芸術施設の施設構成

ビジョン、コンセプト

■パーク・ハイ・レジ外における吾妻公園の位置づけ
「ウェルネス（健康・運動）」

■基本構想段階での方針
「文化芸術活動等機能を中心とした
世代間交流の拠点となる施設づくり」

■基本計画での施設づくりの方針

3-2. 施設づくりの方針



○施設づくりの方針

■敷地面積を活かした文化芸術活動や生涯学習の交流拠点づくり

・多世代が気軽に集い、学び、交流できる施設として、「木更津市中規模ホール整備基本計画（令和2年6月策定）」で示す新たなホールの方向性を踏まえ、図書館、中央公民館等の公共機能も複合した文化芸術施設を整備します。

■災害時に対応できる施設づくり

・災害時に周辺住民の避難所機能等の機能を整備します。

■市民と自衛隊員が交流できる施設づくり

・基地に関連する物品等の展示など、基地の役割の理解促進を図る機能を整備し、連携の強化を図ります。

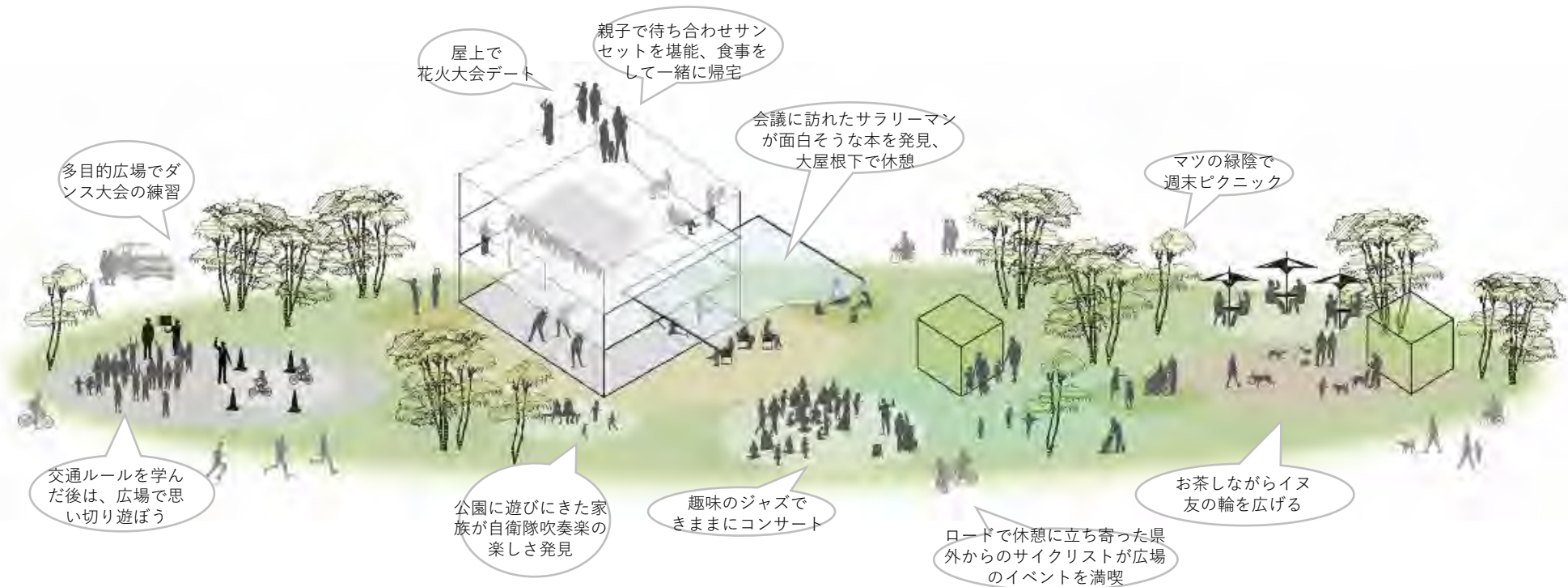
■公園としての再整備

・公園として、緑豊かな環境で屋外でも活動できる場や、雨天時でも活動できる大屋根広場を整備します。あわせて、公募設置管理制度（Park-PFI）等を活用し、民間事業者による収益施設の整備も検討します。

様々な居場所や文化芸術活動とともに 市民の愛着を育める公園

多様な「**日常的居場所**」や「**文化芸術活動のステージ**」をもうけ、みなとまち木更津を感じられ、皆が愛着を育める公園をめざします。

お年寄りから子供まで、お互いが様々な目的で集まり、**おもいがけない「交流のきっかけ」や「出会い」の場**がうまれます。そのきっかけづくりをちりばめた計画を目指します。

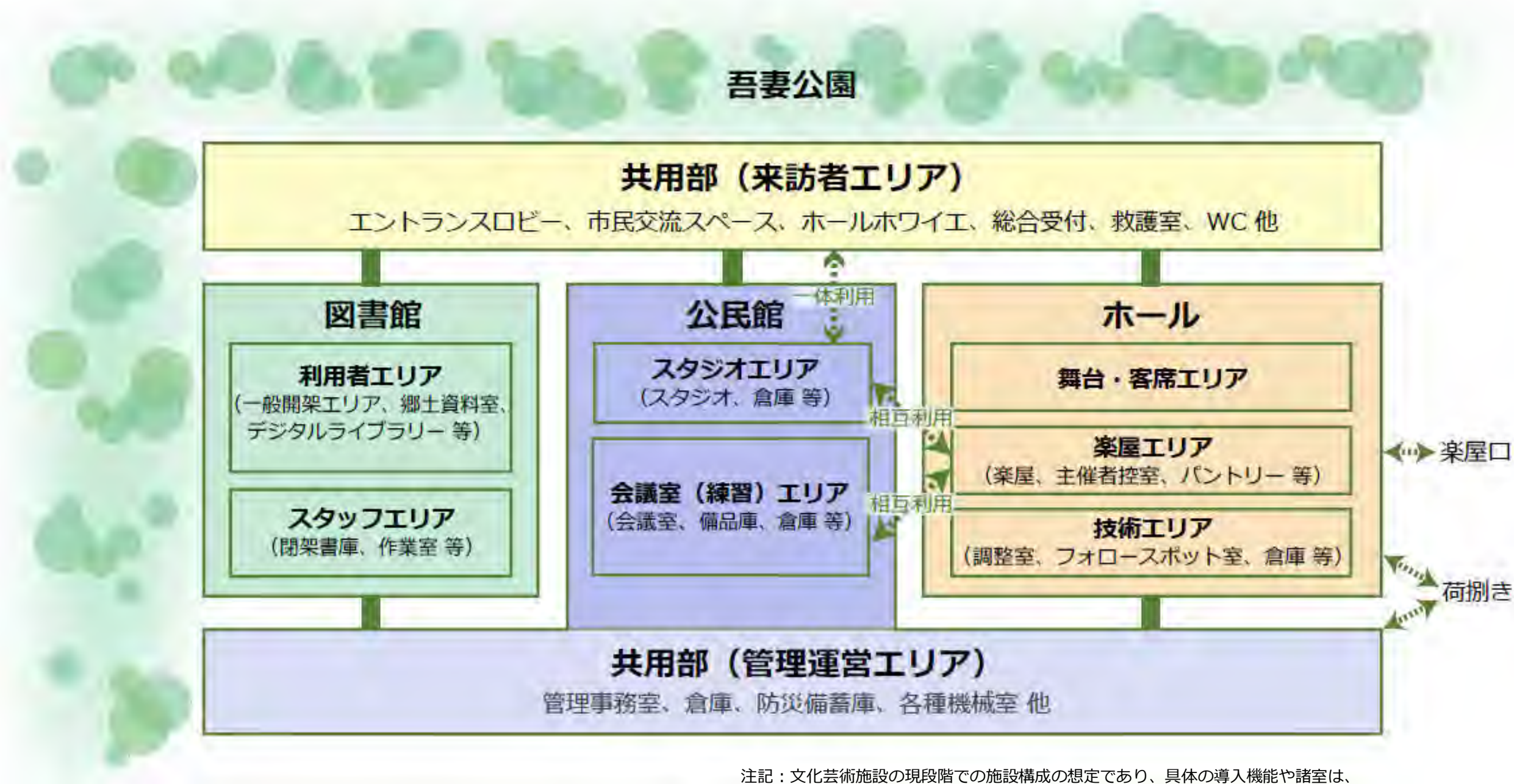


主な導入機能

項 目		基本構想・計画	実施計画での検討方針	備 考
①	文化芸術複合施設 (ホール、図書館、公民館)	延床面積8,300㎡、階数 4 F ホール700席程度	延床面積を基本としつつ、詳細を検討	建築面積： ① + ③a ≤ 公園用地面積の最大12%
②	大屋根広場	面積1350㎡ 3mの盛土広場上に設置	屋根下利活用方針に基づき、適切な範囲を設定	② ≤ 公園用地面積の10%
③	屋外広場	約9,000㎡ 民活用地含む	広場面積を多く確保できる計画とする	広場の利用方針は今後検討予定
③a	民間活力導入	レストラン、マルシェ、コンビニ等を想定 面積未定	サウンディング結果に基づき設定	建築面積： ① + ③a ≤ 公園用地面積の最大12%
③b	ドッグラン、キッズバイク	約500㎡	ドッグランは民活を基本とする ドッグランを約500㎡ 程度確保 キッズバイクは芝生広場内で確保	
⑥	交通公園	約1500㎡	現状で主に利用されているのと同規模のものを設定	
⑦	駐車場	駐車台数 約570台、面積 約23900㎡	570台を確保 バス等利用も考慮した見直しを図る	
⑧	その他		公園西側通路は現状通り	

文化芸術施設の施設構成

ホール、図書館、公民館の共用部を共有し、複合施設による交流の輪をひろげます
管理運営エリアをまとめ、最小限の面積で無駄なく効率よい平面計画をおこないます



注記：文化芸術施設の現段階での施設構成の想定であり、具体の導入機能や諸室は、今後の詳細な検討に応じて変更の可能性があります。

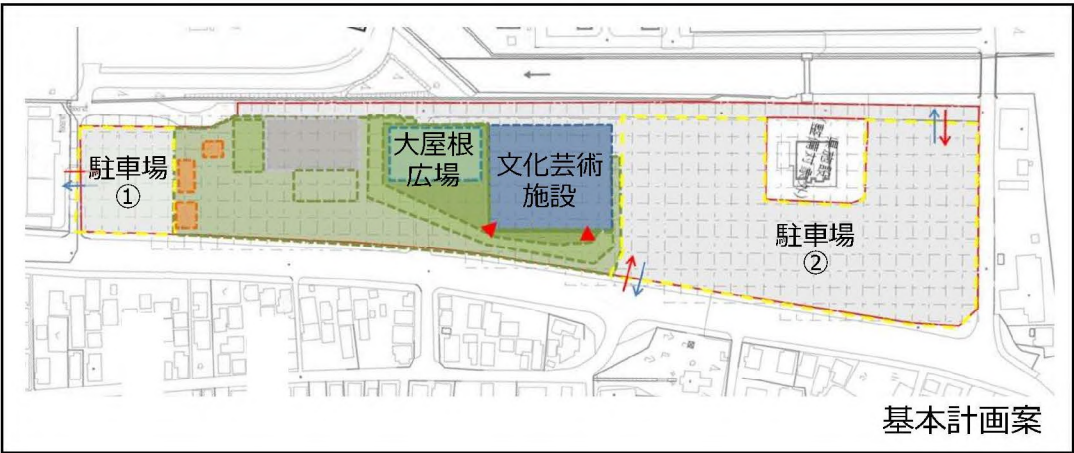
3 章

- ・ 公園全体の機能配置の考え方
- ・ 施設配置計画案
- ・ 交通公園のあり方について
- ・ 駐車場のあり方について
- ・ 動線計画案

公園全体の機能配置の考え方

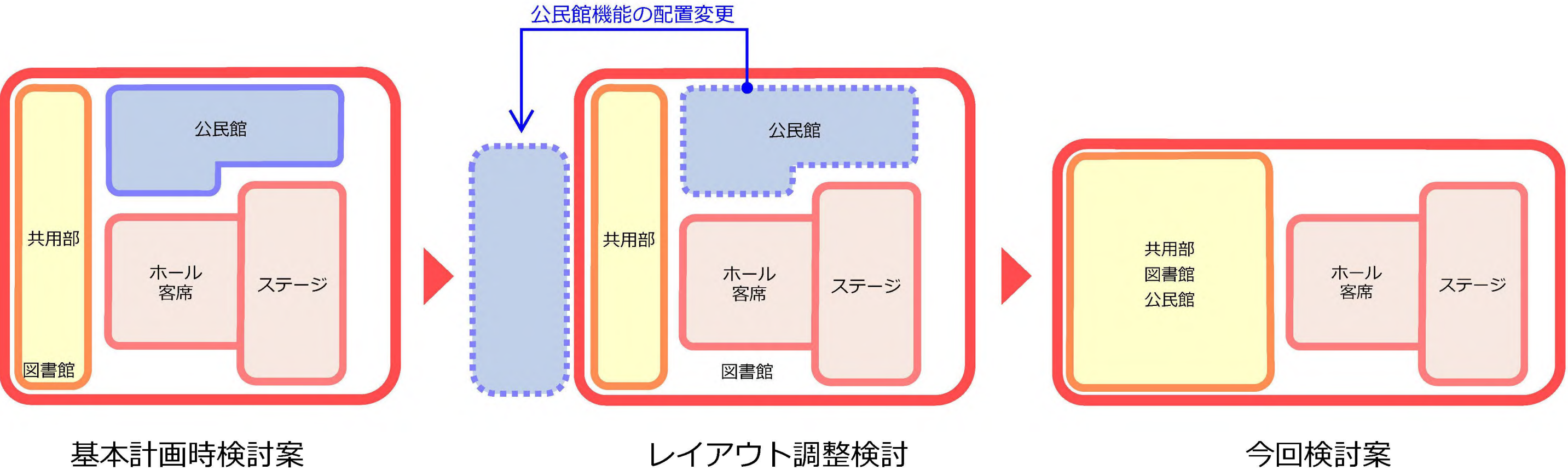
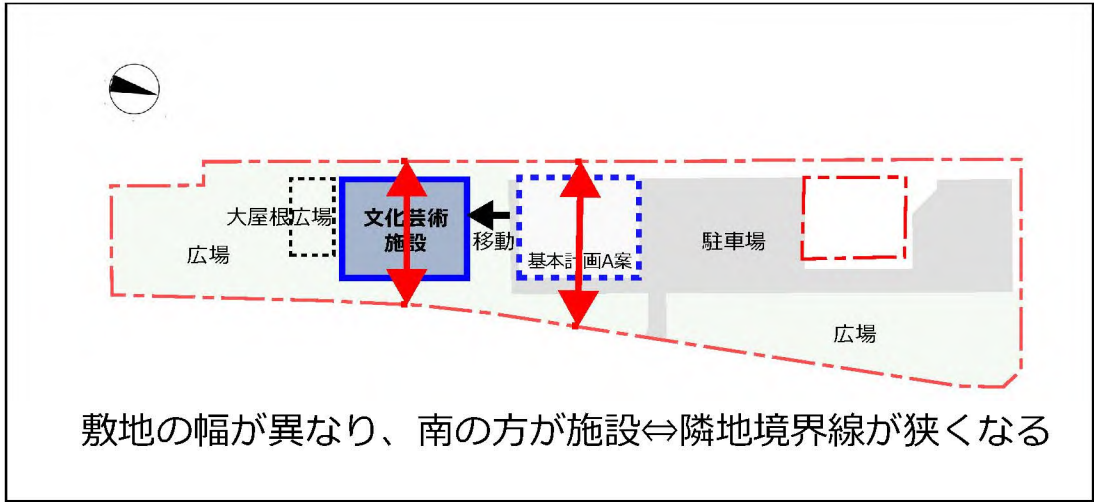
吾妻公園全体の機能配置について、以下のポイントにもとづき基本計画時検討案からのブラッシュアップを図ります

- ポイント：
- ① 海への眺望をより確保しやすい文化芸術施設の配置
 - ② 文化芸術施設と周辺広場の一体性
 - ③ 駐車場の集約による敷地利用の効率化
 - ④ 敷地東側からの景観に配慮し、県道に面してより多くの広場を配置



公園全体の機能配置の考え方
【文化芸術施設の平面検討】

ホール、図書館、公民館を横並びに配置し、
建物幅をコンパクトにすることで、
施設周辺の空間にゆとりをうみだします



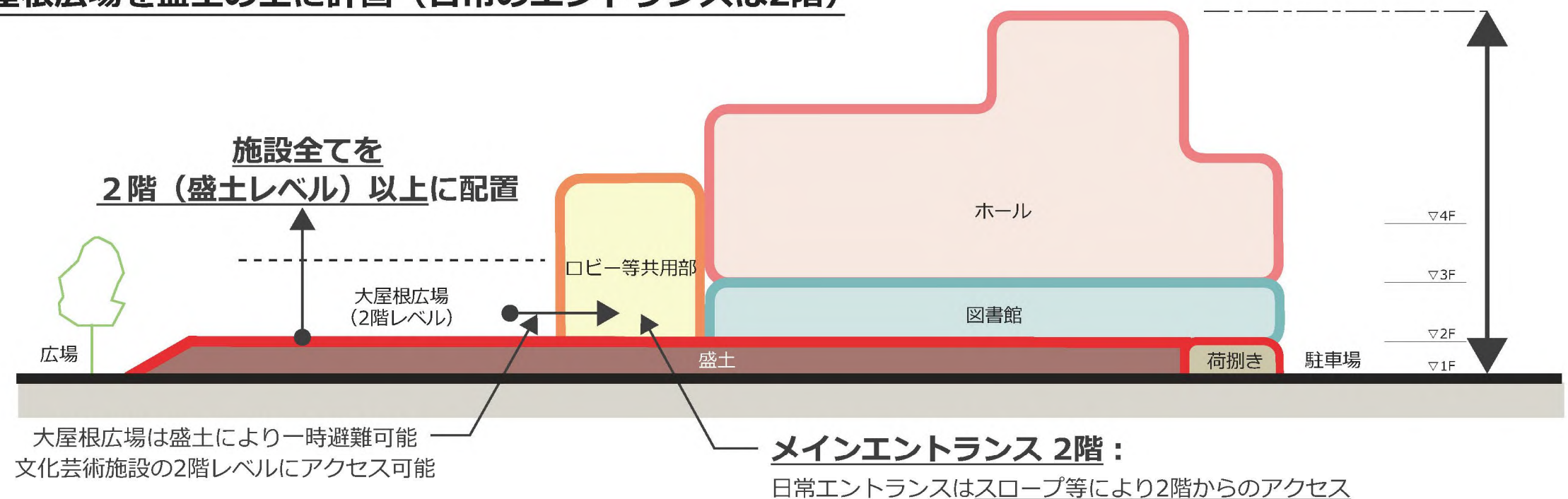
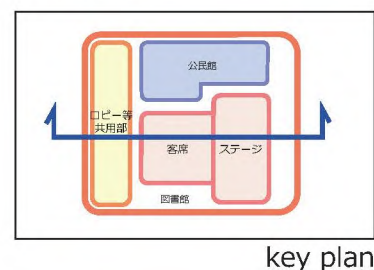
公園全体の機能配置の考え方

【文化芸術施設の断面検討】

公園の地盤レベルと一体となった施設づくりをめざします

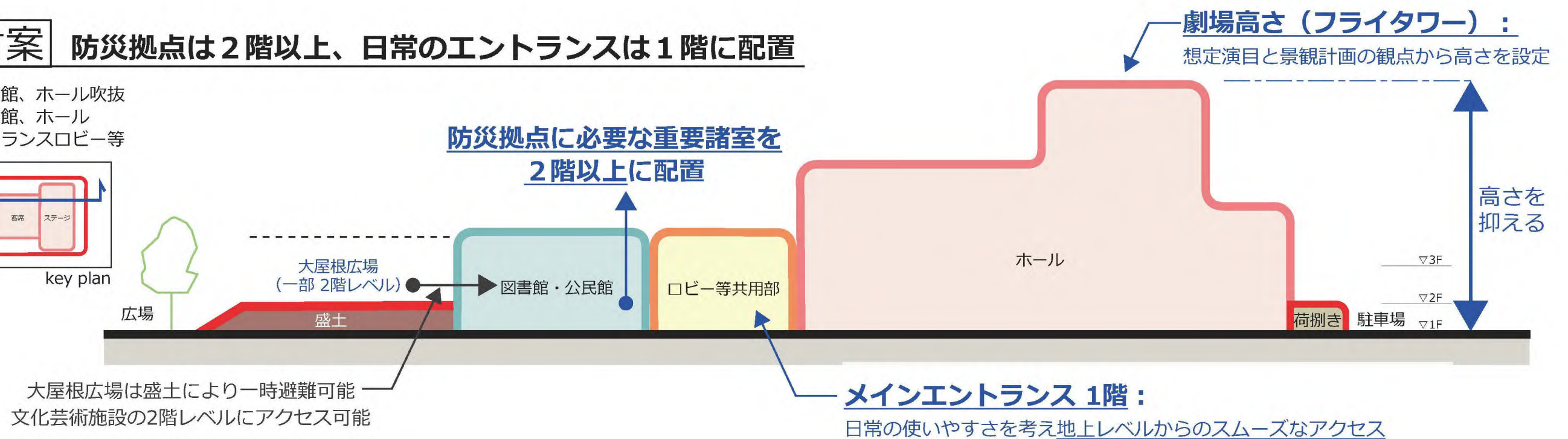
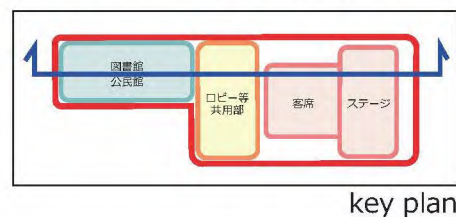
基本計画案 建物、大屋根広場を盛土の上に計画（日常のエントランスは2階）

4F：ホール吹抜
3F：公民館、ホール
2F：エントランスロビー等、図書館
1F：盛土



今回検討案 防災拠点は2階以上、日常のエントランスは1階に配置

3F：図書館、公民館、ホール吹抜
2F：図書館、公民館、ホール
1F：盛土、エントランスロビー等

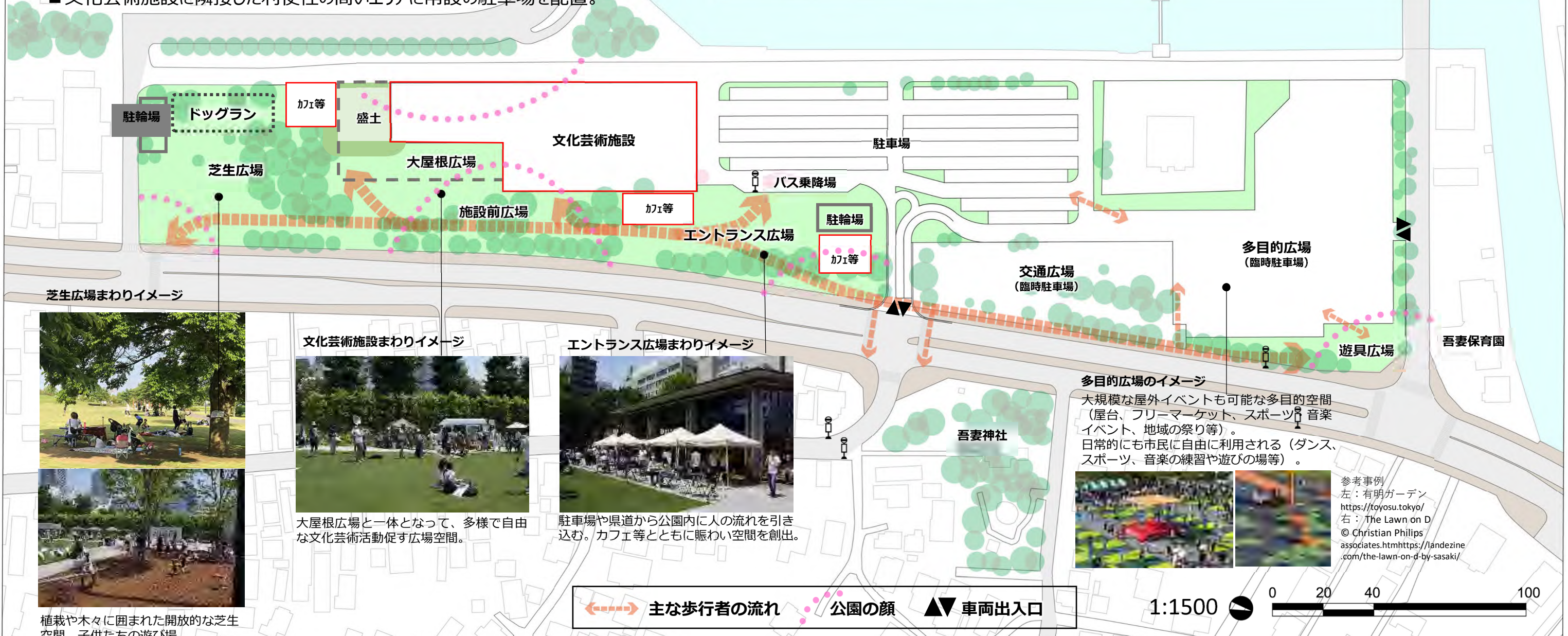
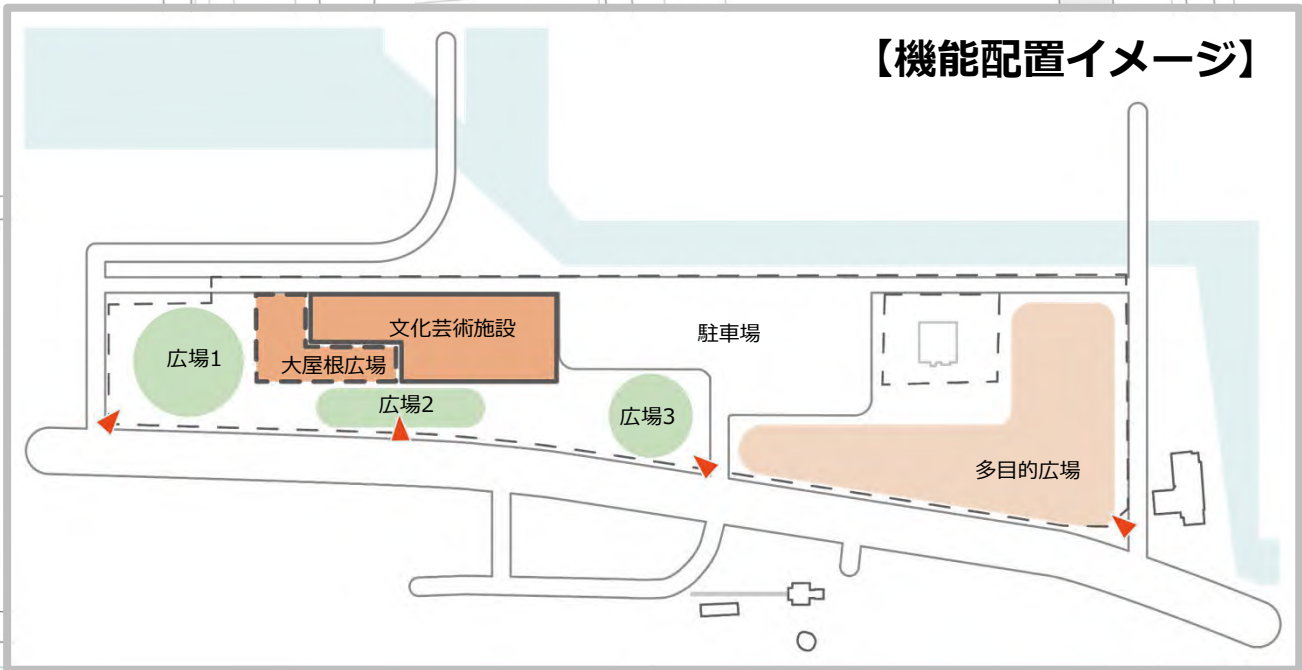


施設配置計画案

主な考え方

- 公園空間と文化芸術施設との一体性を重視し、施設を囲むように大屋根広場や様々なタイプの広場を配置。建物内外、大屋根内外が連続する空間を創出。
- 歩行者、自転車の主な動線になる中央交差点付近にカフェなどとともに賑わいのあるエントランス広場を創出。
- 中心市街地に近い南側に、既存のマツ林などをいかした緑陰や自然や季節感を感じられる憩いの広場空間を創出。
- 敷地北側は広い敷地をいかした多目的広場として利用。臨時駐車場としての利用も想定。
- 県道や東側住宅エリアからの視認性や緑の連続性を重視し、県道側に連続して多様な広場機能を配置。
- 文化芸術施設に隣接した利便性の高いエリアに常設の駐車を配置。

【機能配置イメージ】



芝生広場まわりイメージ



植栽や木々に囲まれた開放的な芝生空間。子供たちの遊び場。

文化芸術施設まわりイメージ



大屋根広場と一体となって、多様で自由な文化芸術活動促す広場空間。

エントランス広場まわりイメージ



駐車場や県道から公園内に人の流れを引き込む。カフェ等とともに賑わい空間を創出。

多目的広場のイメージ

大規模な屋外イベントも可能な多目的空間（屋台、フリーマーケット、スポーツ、音楽イベント、地域の祭り等）。日常的にも市民に自由に利用される（ダンス、スポーツ、音楽の練習や遊びの場等）。



参考事例
左：有明ガーデン
<https://toyosu.tokyo/>
右：The Lawn on D
© Christian Phillips
<https://landezine.com/the-lawn-on-d-by-sasaki/>

主な歩行者の流れ 公園の顔 車両出入口

1:1500 0 20 40 100

施設配置計画案

文化芸術施設／大屋根広場／屋外広場 が一体となった公園イメージ案

木更津の海、海越しの富士山や木更津港まつり
花火大会への眺望を楽しむ（2階レベル以上）

防風林

ドックラン

カフェ③

図書館
公民館

ロビー等
共用部

客席

ステージ

大屋根広場
(1階レベル)

芝生広場
遊び場／遊具エリア
／キッズバイク

盛土法面

クロマツ群

施設前広場

主な園路イメージ

カフェ②

エントランス広場

カフェ①

駐車場

バス乗降場

駐車場利用者

交通公園

歩行者・自転車利用者

吾妻神社



ドックランや子供
たちが自由に活発
に遊べる空間。
クロマツをいかし
たピクニックなど
自然や季節感を感
じられる広場空間。



図書館、公民館と2Fレベルで大屋根広場がつな
がり、読書や憩いの場となる。盛土法面が、遊び
場や屋外広場の小舞台の観客席、ベンチになる。



開放的な広場や大屋根下の日
陰で各々が自由に憩い集える
広場空間。



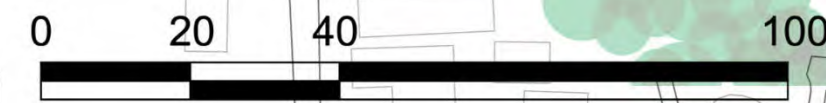
県道の車窓から、みどり
ゆたかな公園内の賑わい
がみえる。



公園へのメインのエントランスエリアと
なり、小規模レストランやカフェ、マル
シェなどとともに賑わいある広場空間。



1:1000



注記：各施設、機能の配置や規模は今後の詳細な検討に応じて変更の可能性があります。

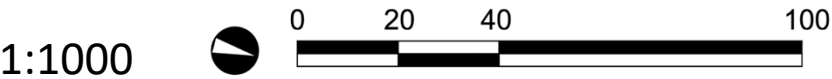
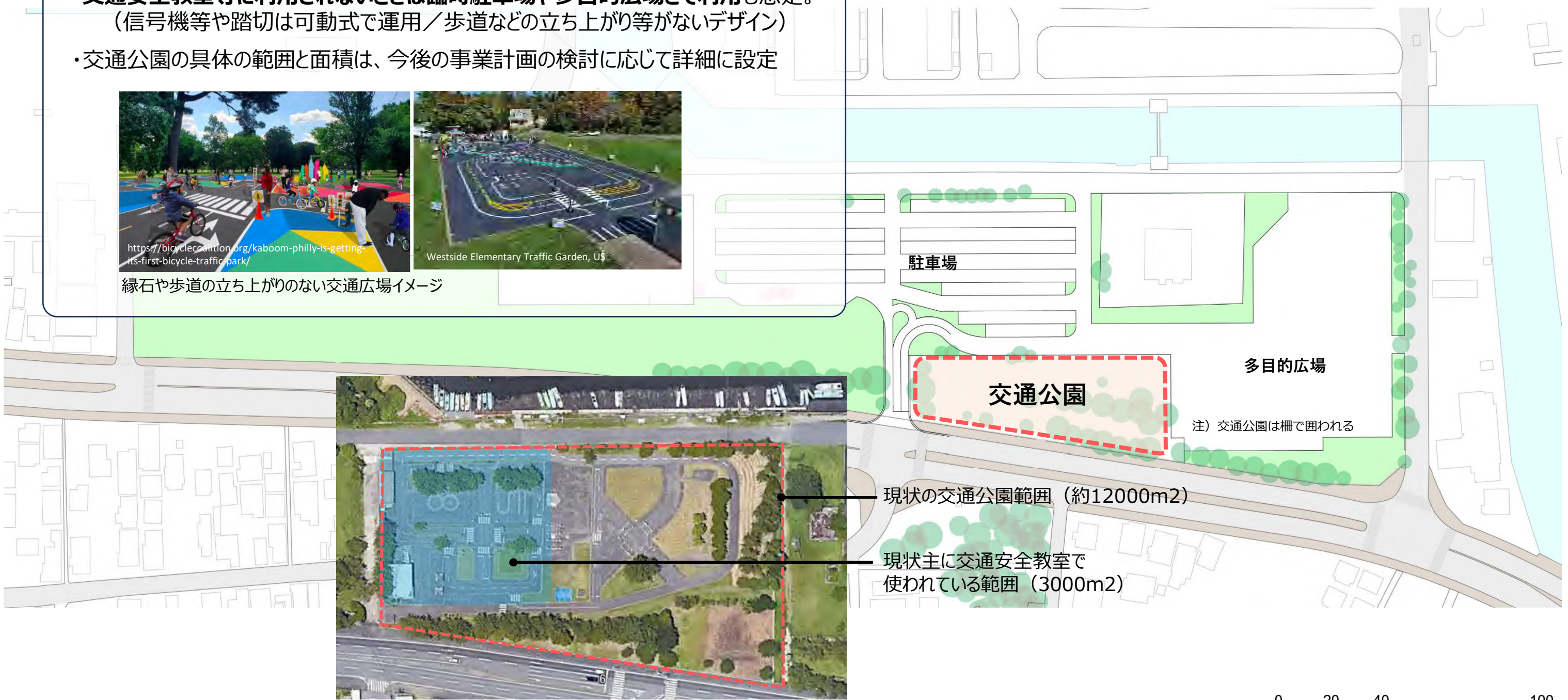
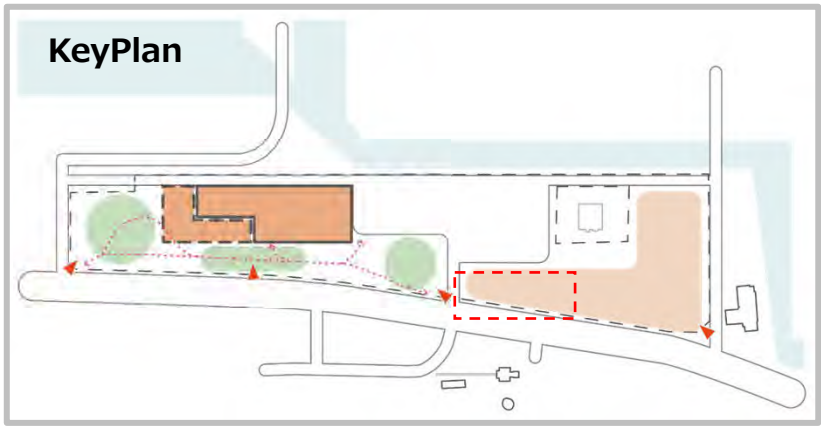
交通公園のあり方について

多目的に利用できる交通公園を整備します

- ・現在と同様に**未就学児や小学生を対象に、交通安全ルールや自転車ルールを学ぶ場**としての利用を想定。
- ・**交通安全教室等に利用されないときは臨時駐車場や多目的広場**と**て利用も想定。**
(信号機等や踏切は可動式で運用／歩道などの立ち上がり等がないデザイン)
- ・交通公園の**具体の範囲と面積は、今後の事業計画の検討に応じて詳細に設定**



縁石や歩道の立ち上がりのない交通広場イメージ

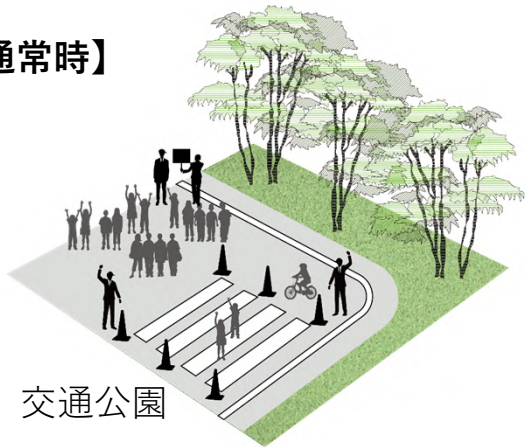


駐車場のあり方について

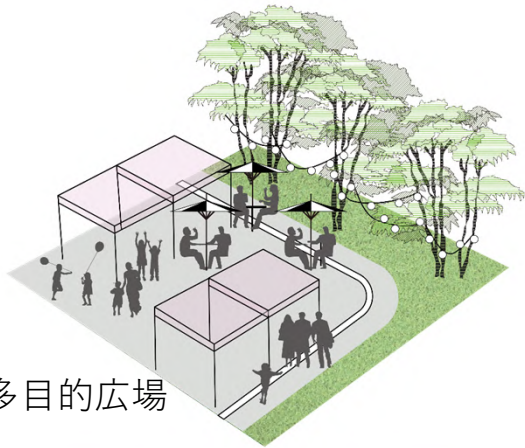
多目的広場や交通公園を臨時駐車場としても活用し 駐車場の必要規模を確保します

- ・駐車場の必要規模は570台と設定
- ・常設の駐車場として、文化芸術施設の公演等が行われない時の必要台数相当を文化芸術施設に隣接して整備
- ・公演や大規模イベントが行われる場合には、多目的広場や交通公園を臨時駐車場として利用

【通常時】



交通公園



多目的広場

【公演等が行われる場合】



臨時駐車場として利用



- 駐車場規模 (計570台)
- 常設駐車場 約245台
- 臨時駐車場 多目的広場：約265台、交通公園：約60台
- その他
- 内港北公園(県) *：約30台 * イベント時に県に事前連絡の上、利用を想定

駐車場の必要規模の考え方

・文化芸術施設は、施設の立地状況を考慮して、県内の類似施設の
駐車場台数の設定 中では高い駐車場整備水準である君津市民文化ホールの事例を参考

施設	台数	設定根拠
文化芸術施設	341	君津市民文化ホールの事例を参考（基本計画） 現図書館を参考（基本計画） 市内公民館事例を参考（基本計画） 都市公園利用実態調査（国土交通省）を参考 類似事例より設定
図書館	119	
公民館	25	
広場	44	
収益施設	41	
合計	570	

県内文化ホールの駐車場整備水準

名称	席数	駐車場台数	整備水準（台/席）
君津市民文化ホール	1702	830	0.49
いすみ市夷隅文化会館	600	286	0.48
千葉県福祉ふれあいプラザ	551	92	0.17
流山市文化会館	820	212	0.26
四街道市文化センター	943	196	0.21

全国劇場・音楽堂等総合情報サイト（<https://www.zenkoubun.jp/index.html>）を加工

参考）駐車場としても利用できる屋外イベント広場の様々な活用事例（有明ガーデン）

○地域の祭り



<https://toyosu.tokyo/>

○スポーツクラブ



<https://sports.epark.jp/>

○学校のイベント



<https://arishopta2019.localinfo.jp/>

○企業のイベント



<https://response.jp/>

動線計画案

①歩行者、自転車

- ・中心市街地、木更津駅、バス停からの歩行者動線を優先して確保する。
- ・自転車動線の近くに駐輪場を配置する。

②自家用車

- ・中央部の交差点に駐車場への入出庫動線を確保する。
- ・金田方面から右折で入庫する車両に対し、袖ヶ浦中島木更津線に右折車線を設置する（今後協議）。
- ・今後設計段階において、交通処理の検証にもとづきイベント時には北側の交差点からも出庫動線を確保することを検討する。

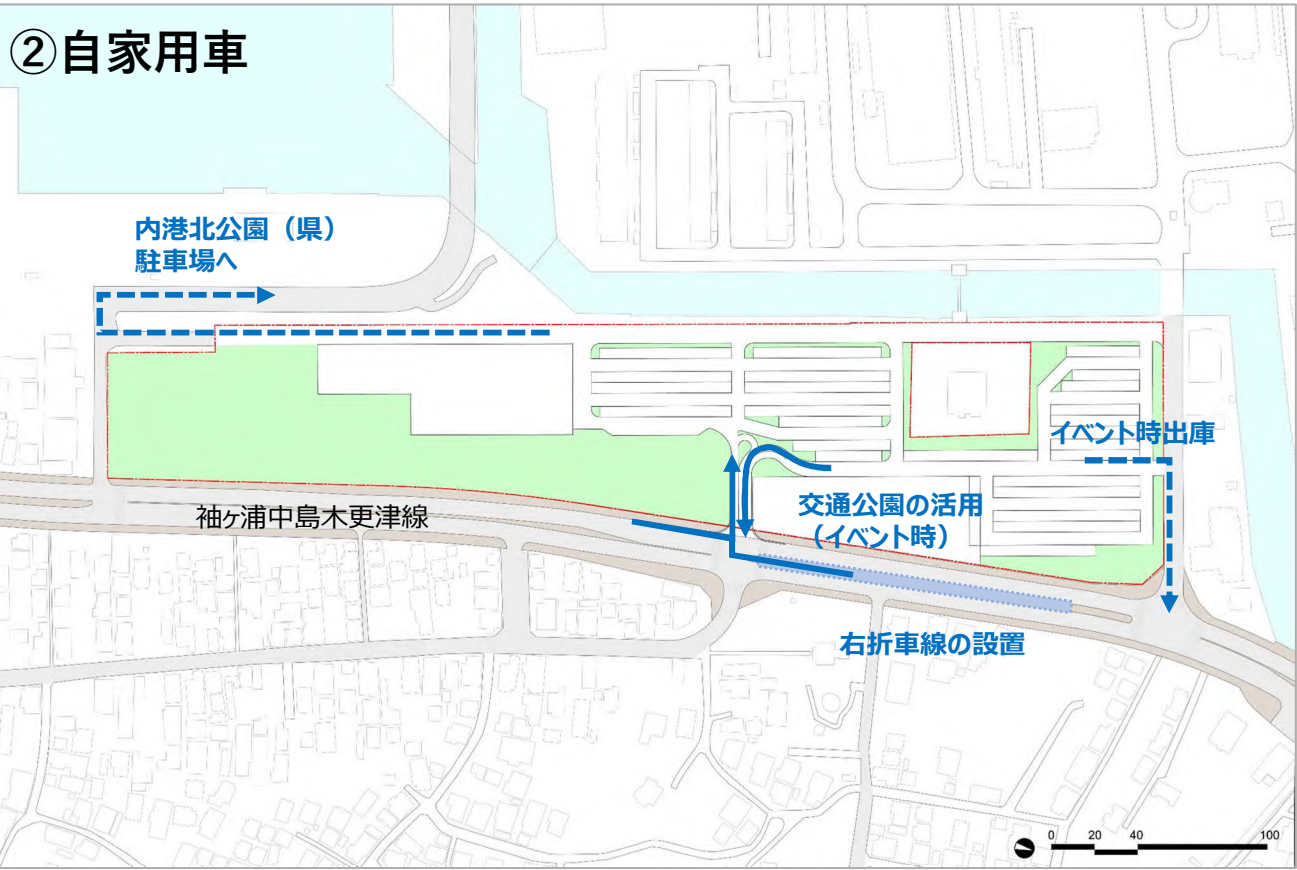
③送迎バス、巡回バス

- ・駐車場内にバスの乗降場、待機場を配置し、中央の交差点から出入する。
- ・自家用車と同様に、イベント時に北側の交差点を利用することを今後検討する。

①歩行者、自転車



②自家用車



③送迎バス、巡回バス

